

○公安警察のスパイ化・不当弾圧許すな！ 4 学生を取り戻そう！

戦争の切迫を具体的に示したのが、10月1日の公安警察による広島大学への不当捜索でした。その捜索理由の「事件」は、公安警察が仕立てた学生スパイが「被害者」として4人の学生を売り渡したでっち上げでしかありません。公安のスパイや学生への不当な弾圧から戦争は始まります。公安警察を大学に入れた、大学の自治の問題でもあります。昨年、京大生が公安警察を大学から追い出したように、学生の団結でこの弾圧を跳ね返して、4人の学生を取り戻しましょう！



9月13日、国会前に集まった3000
人の前でマイクアピールを行った



2015年 広島大学学生自治会選挙



委員長候補
森田 寛隆
(総合科学部)

森田寛隆委員長候補

<連絡先> 本部：社会科学研究会BOX
TEL：090-7142-6570

●戦争協力拒否できる団結を！ ストライキで戦争止めよう！



れば戦争はできません。

つまるところ問題なのは、私たち学生や労働者が大学・職場で戦争協力するのか否か、です。私たちが現場から立ち上がれば戦争は阻止できます。

「大学・国の決定」として行われる戦争協力に、個人で立ち向かうのは困難です。戦争協力を拒否できる団結を固め、ストライキで戦争を止めましょう！

7～8月、防衛省からの3億円規模の軍事研究公募には58もの大学が応じました。大学はこの戦争体制構築の最先頭に立っています。戦争で利益を得るひと握りの支配者や大資本が戦争協力をあおり、大学がそれを容認する中で「国からも予算が下りてるんだ」と戦争協力させられるのは私たち学生自身です。だからこそ、「私たちは戦争に協力させられるために大学に来たんじゃない！」この思いを全学生の意志として示しましょう。

ストライキを訴えているのは私たちだけではありません。京都大学や東北大学では今、戦争絶対反対のストライキを準備しています。また、日本はじめ、全世界の労働者が外注化や非正規職反対、戦争協力拒否のストライキを闘っています。ストライキは波及していくものです。次の社会を担う学生と、実際に社会を動かしている労働者が一つになれば、戦争を阻止し社会を変える事はできます！



○巨万の怒りの声と共に、 安保法制を廃止しよう！



この8～9月、安保法制反対の行動には膨大な人々が参加し、8月30日には国会前12万人、全国で100万人が集まりました。強行採決前の国会正門前の車道には多くの人びとが深夜まで残って声を上げ、警官隊と衝突しながらも「絶対に戦争を繰り返してはいけない」と人生をかけた行動が連日行われました。安保法制成

立後も8割の人々が納得いかないと声をあげています。この真剣な思いと繋がり、未来を担っていく学生として、安保法制を廃止する行動に立ちましょう！全世界の労働者・学生と連帯する10・21国際反戦デーに集まろう！

○大学の戦争協力阻止！ 三菱重工を経営協議会から叩き出そう！

10月1日に軍事開発・武器輸出を担う防衛装備庁が発足し、来年からは軍事研究に20億円規模の予算をつけると言っています。カネにならない文系学部は改廃させ、戦争協力するならカネを出す。更なる大学の戦争協力は必至です。こうしたあり方を進めてきたのが、広大の経営協議会に入っている三菱重工の佃和夫氏です。三菱重工は日本最大の軍事メーカーであり、氏は、安倍政権と一体で武器輸出の解禁と推進を行い、大学の自治を破壊して大学を戦争協力させていく、その先頭に立ってきた人物です。「平和を希求する精神」を掲げながら、大学の経営をこのような人物が担っていることを容認することはできません。三菱重工を叩き出し、大学の戦争協力を阻止しましょう！

